

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	地域高規格道路 新潟山形南部連絡道路 一般国道113号 鷹ノ巣道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：新潟県岩船郡関川村大字下川口 至：新潟県岩船郡関川村大字片貝	延長	5.0km		
事業概要 一般国道113号鷹ノ巣道路は地域高規格道路新潟山形南部連絡道路の一部を形成し、災害に強い幹線道路ネットワークの形成、急カーブ・急勾配区間及び冬期交通障害等の回避、物流や観光、地域経済活動の活性化などを主な目的とした延長5.0kmの道路事業である。					
H9年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H13年度用地着手	H13年度工事着手		
全体事業費	約153億円	事業進捗率	30%	供用済延長	0km
地域の防災面の課題 ・関川村内の一般国道113号は、山間部を通過する代替路の無い県際道路であり、冠水や災害等による通行止め時には大幅な迂回を強いられる。 ・昭和59年度には融雪を起因とする地すべり災害で約106時間にわたり全面通行止めとなり、近年では平成23年度に集中豪雨に伴う冠水による通行止めが発生。 ・当該区間の防災面の課題は、沿線住民の日常生活や経済活動、そして救命救急活動を営む上で重大な障害や不安要素となっており、関川村をはじめとする関係市町村からも改善要望がだされているなど地域の喫緊の課題となっている。					
課題を踏まえた対策・事業内容 現道は一級河川荒川とJR米坂線に挟まれていることや、現道対策は大規模な法面対策が必要となることから5.0kmの別線を整備することにより課題箇所を回避。					
事業の効果等			費用 (残事業) / (事業全体)		
①災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 (164億円 (残事業=164億円))			107/167億円		
②災害に強い道路ネットワークの形成			〔 事業費：85/144億円 維持管理費：23/23億円 〕		
③孤立集落の解消・経済活動停止の回避					
④救急医療施設への「命の道」としてのアクセス向上					
⑤冬期交通障害の解消					
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： 鷹ノ巣道路は災害や事故における迂回路の確保、冬期における走行の安全性確保等が期待され、広域的な交通需要と地域の生活基盤を支える唯一の幹線道路として、新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会（関川村をはじめ関係6市6町2村で構成）より整備促進の要望を受けている。					
知事の意見： 地域住民の安全・安心の確保や地域の振興のため、事業を継続する必要がある。 ただし、過去に発生した災害を踏まえて事業の優先順位を考える必要がある。 また今後は、国土軸の構築が重要であることから、都市間ネットワークの形成も考慮して優先順位を判断すべきである。 なお、都市内の交通混雑の緩和については、TDMの活用の可能性など、総合的な観点からも考えるべきである。					
事業評価監視委員会の意見 対応方針については、北陸地方整備局原案を妥当と判断する。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 日本海沿岸東北自動車道の荒川胎内IC～朝日まほろばICが平成23年3月までに開通済み。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成13年度に工事着手して、事業進捗率30%、そのうち用地進捗率82%となっている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 地質調査の結果、当初計画ルートの特トンネル坑口部斜面において施工技術的な課題があり、道路機能及びコスト等を含めた代替ルートの検討を実施しルート変更を行った。					
施設の構造や工法の変更等					

地域高規格道路の構造要件の緩和等を受けて、構造・規格や施設規模は必要最低限で計画しており、他事業の建設発生土の有効活用により今後もコスト縮減に努めていく。

対応方針 : 事業継続

対応方針決定の理由

事業の効果及び進捗状況、事業評価監視委員会における審議、地方公共団体等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性に変化なく、防災面の効果が見込まれるため。

事業概要図



- ※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。
- ※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。